

資料配布の場所

1. 国土交通記者会
 2. 国土交通省建設専門紙記者会
 3. 国土交通省交通運輸記者会
 4. 筑波研究学園都市記者会
- 令和元年7月2日同時配布



国総研

National Institute for Land and Infrastructure Management

令和元年7月2日
国土技術政策総合研究所
国立研究開発法人土木研究所**「道路メンテナンス技術集団」の一員として専門家を派遣します
～静岡県吉田町の老朽橋梁（古川橋）に対する直轄診断～**

国総研・土研では、7月9日、静岡県吉田町が管理する古川橋の直轄診断において、実施主体である「道路メンテナンス技術集団」の構成員として専門家を派遣し、これまでの経験や研究により蓄積された知見・教訓を踏まえて、専門技術者の視点から技術的な助言を行います。

国土交通省では、地方公共団体への支援として、要請により緊急的な対応が必要かつ高度な技術力を要する施設について、地方整備局、国土技術政策総合研究所、土木研究所の職員等で構成する「道路メンテナンス技術集団」による直轄診断[※]を平成26年度より実施しています。

なお、中部地方整備局中部道路メンテナンスセンターより、7月2日に「古川橋（静岡県吉田町）に「道路メンテナンス技術集団」を派遣～地方公共団体管理の老朽橋梁に対する直轄診断を実施～」と題した記者発表がなされています。

※直轄診断

「橋梁、トンネル等の道路施設については、各道路管理者が責任を持って管理する」（道路法第13条～16条）という原則の下、それでもなお、地方公共団体の技術力等に鑑みて支援が必要なもの（複雑な構造を有するもの、損傷の度合いが著しいもの、社会的に重要なもの、等）に限り、国が自治体からの要請に基づき地方整備局、国土技術政策総合研究所、国立研究開発法人土木研究所の職員で構成する「道路メンテナンス技術集団」を派遣し、技術的な助言を行うもの。

記

1. 実施日 令和元年7月9日(火)
2. 対象橋梁名・実施主体

施設名	市町村名	直轄診断実施主体
古川橋(ふるかわばし)	よしだちょう 吉田町(静岡県)	中部地方整備局

※橋梁の概要は別紙参照

3. 派遣者

○国土交通省 国土技術政策総合研究所

道路構造物研究部 橋梁研究室長

しらと まさひろ
白戸 真大

○国立研究開発法人 土木研究所

構造物メンテナンス研究センター 上席研究員

じょうせん やすし
上仙 靖

(問い合わせ先)

国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部

(FAX: 029-864-2690)

橋梁研究室 主任研究官 市川幸治、藤田裕士

TEL: 029-864-4919

国立研究開発法人土木研究所 構造物メンテナンス研究センター

(FAX: 029-879-6739)

上席研究員 上仙靖、研究員 廣江亜紀子、二宮智大

TEL: 029-879-6773

ふるかわ ばし 古川橋の概要

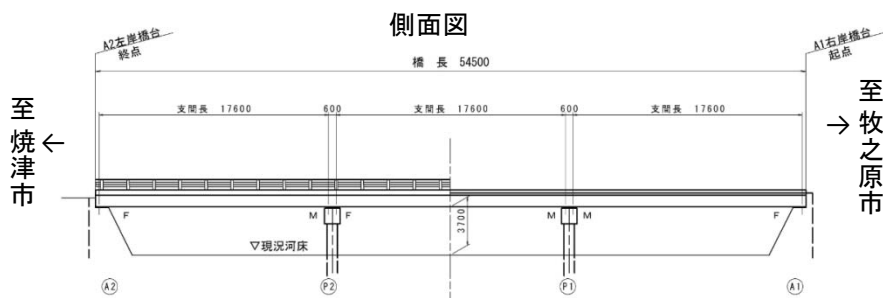
【別紙】

至
焼
津
市



至
牧
之
原
市

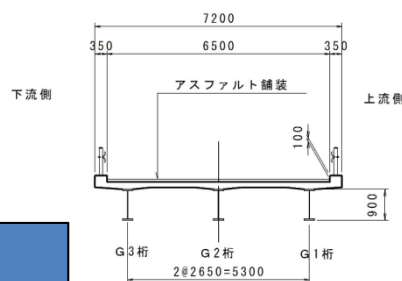
古川橋諸元(架設年次: 昭和44年(供用後49年))
3径間単純非合成H桁橋(パイルベント橋脚) 橋長54.5m 幅員7.2m



至
焼
津
市

→
至
牧
之
原
市

上部工断面図



緊急性・高度な技術力の必要性

橋梁鋼材全体に、塩害による腐食や、支承部の著しい損傷等が確認され、補修工法の検討に、高度な技術力が必要。



この背景地図データは、国土地理院の電子国土Webシステムから配信されたものである